

令和8年2月18日

センシング技術・次世代パッケージングコンソーシアム
人・機械インタラクションWG・環境モニタリングWG

主査 武居 淳

副査 野村 健一、古志 知也

第7回 人・機械インタラクションWG開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、当コンソーシアムのワーキンググループ活動に格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。今年度、人・機械インタラクションWGは福祉工学小WGおよびロボット小WGを立ち上げ、講演会、産総研施設見学、展示会ツアー、シンポジウムツアーを通じ該当分野ならびに周辺分野の理解、そして連合体の形成に努めてきました。今年度の締めくくりとして福祉工学およびロボットへの応用が期待できるアクチュエータ、センサ、配線技術、高機能材料に関する講演、デモ会を行います。

また、今回はセンシング技術研究部門スマートインタラクションデバイス研究グループのセンサ・デバイスのデモ会も行います。講演会についてはハイブリッド開催といたしますが、デモ会については実機を用いての紹介となるため現地開催のみとなります。是非、現地でのご出席のほどよろしくお願いいたします。

敬具

記

日時：2026年3月18日（水）14:00～16:50

場所：産業技術総合研究所柏センター 3F オープンスペース

※講演会の時間帯14:00-15:45はハイブリッド開催(Microsoft Teams)。URLは参加申込の際に同時に送付されます

予定内容

14:00～14:10 人・機械インタラクションWG開会の挨拶(オンライン配信開始)

14:10～14:40 講演「伸縮蛇行配線を用いたウェアラブルセンサおよび水の分解と合成を用いたシート型空気圧ソフトアクチュエータ」

スマートインタラクションデバイス研究グループ 主任研究員 古志 知也

【講演概要】本講演では、伸縮性により身体に密着して生体計測が可能なウェアラブルセンサと、水の分解と合成によりシート型に小型軽量化した空気圧ソフトアクチュエータをご紹介します。また、本技術を活用した企業連携の事例についてもご紹介します。

14:40～15:10 講演「ロボット分野向け高機能金属材料のご紹介」

JX 金属-産総研未来社会創造 素材・技術連携研究ラボ 研究ラボ長 福嶋 篤志

JX 金属株式会社 先端材料事業本部 機能材料事業部 市場開発部技師 古村 俊行

【講演概要】 JX 金属は、銅をはじめとする非鉄金属の資源開発・製錬から先端材料の製造までを一貫して手掛ける素材メーカーです。本講演では、当社が提供する銅箔や銅合金などの高機能金属材料が、ロボティクス分野においてどのように貢献できるかをご紹介します。例えば、フレキシブルプリント基板（FPC）向けの高屈曲圧延銅箔「HA 箔」は、ロボットの繰り返し駆動に耐え得る高信頼性の配線材料として活用いただけます。

15 : 10～15 : 40 講演「印刷技術による圧力センサシートの製造と応用」

スマートインタラクションデバイス研究グループ 主任研究員 延島 大樹

【講演概要】 人と物体、ロボットと物体など接触面の圧力分布を知ることはフィジカル空間とサイバー空間の高度な融合において不可欠です。本講演では印刷技術を用いた圧力センサシートの製造方法およびその応用範囲を紹介します。

15 : 40～15 : 45 人・機械インタラクションWG次回案内等(オンライン配信終了)

15 : 45～16 : 00 休憩

16 : 00～16 : 45 スマートインタラクションデバイス研究グループ デバイスデモ

【概要】 センシング技術研究部門スマートインタラクションデバイス研究グループが開発したデバイスのデモを行います。講演会で紹介する電気化学式圧力源、圧力センサシートに加え、ウェアラブル血圧計、湿度センサ、熱流束センサ、繊維状デバイス等の紹介をいたします。

16:45～16:50 閉会挨拶

【開催場所・アクセス】

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 柏センター

〒277-0882 千葉県柏市柏の葉6丁目2番3 東京大学柏 II キャンパス

アクセス : <https://www.aist.go.jp/kashiwa/ja/access/index.html>

